



京都府域展開アートフェスティバル「もうひとつの京都」の開催について 《会期変更》

京都府では、地域の歴史や風土、生活文化等を題材としたアートプロジェクト「もうひとつの京都」を、日本博の一環として令和元年度から実施しています。

本年度は、府内各地で実施する地域文化と先端技術を組み合わせたデジタルアートによる空間演出や、アーティスト・イン・レジデンスを活用した現代アート作品展示等による取組をアートフェスティバルとして位置づけ、府域で一体的に開催しますのでお知らせします。

○事業概要

1. 催事名 京都府域展開アートフェスティバル「もうひとつの京都」
2. 全体テーマ 想像力という<資本>
3. 会期 令和3年9月24日(金)～11月7日(日) ※一部先行開催あり
4. 主催 京都府、「海の京都」天橋立地区協議会、京都:Re-Search 実行委員会、京都文化力プロジェクト実行委員会、福知山イル未来と実行委員会
5. 実施内容

アーティスト・イン・レジデンスを活用した現代アート作品展覧会

アーティストが一定期間、特定の地域に滞在し、地域交流等を行いながら創作活動を行うことで、地域で幅広い文化芸術に触れる機会を提供し、地域の活性化へ繋げるとともに、その地域の魅力をアートの視点から引き出すことを目指す取組。

■八幡市

- (1) 会期 令和3年10月1日(金)～11月7日(日)
- (2) 会場 八幡市内(石清水八幡宮、松花堂庭園・美術館)
- (3) 参加アーティスト 石川 竜一、佐々木 香輔、藤生 恭平、宮本 一行、
島袋 道浩

■京丹後市

- (1) 会期 令和3年10月1日(金)～11月7日(日) ※金土日祝を中心に実施
- (2) 会場 京丹後市内
- (3) 参加アーティスト SIDE CORE、石毛 健太、田中 良佑、鷺尾 伶、BIEN 等

■南丹市

- (1) 会期 令和3年10月1日(金)～11月7日(日) ※金土日祝を中心に実施
- (2) 会場 南丹市内
- (3) 参加アーティスト 荒木 悠、亀川 果野、黒木 結、小山 渉、山田 春江、羊 喘兒

■与謝野町

- (1) 会期 令和3年10月1日(金)～11月7日(日) ※金土日祝を中心に実施
- (2) 会場 与謝野町内(旧加悦町役場庁舎)
- (3) 参加アーティスト ANOTHER FARM (尾崎ヒロミ及び串野真也によるアートユニット)

デジタルアートを活用した夜間コンテンツの創出

地域の歴史や風土、生活文化等を題材とした光や映像、音によるデジタルアート作品の展示を核とする取組。地域の文化財等を幻想的な世界に演出することで、普段とは異なる魅力を知る機会となるとともに、夜間における新たな観光コンテンツの創出を目指す。

■福知山市

- (1) 会 期 令和3年10月8日(金)～11月7日(日) ※金土日祝を中心に実施
- (2) 会 場 福知山市内(福知山城公園、旧銀鈴ビル等)
- (3) 参加アーティスト みたに ただし やまなかスープレックス 三谷 正、山中suplex、ヒスロム

■宮津市

- (1) 会 期 令和3年9月24日(金)～11月7日(日)
※砂浜ライトアップは先行開催(7月10日(土)～9月30日(木))
- (2) 会 場 宮津市内(天橋立公園内、元伊勢籠神社、丹後国分寺跡等)
- (3) 参加アーティスト ひらい まみ こ ながまち しほ はら まりひこ しらきりょう 平井 真美子、いけだ りょうじ 長町 志穂、原 摩利彦、白木 良、
ヤノベケンジ、池田 亮司



昨年度のデジタルアートを活用した
夜間コンテンツの創出



昨年度のアーティスト・イン・レジデンスを
活用した現代アート作品展覧会

※詳細は、ウェブサイト (<https://alternative-kyoto.jp>) 等で随時お知らせします。

キックオフフォーラム「想像力という<資本>—来るべき社会とアートの役割—」

京都府域展開アートフェスティバル「もうひとつの京都」のキックオフとして、コロナ禍で変わりゆく社会におけるアートの役割を取り上げ、オードリー・タン氏(台湾ソーシャル・イノベーション担当デジタル大臣)等の基調講演や、科学、経済、人類学といった領域を超えた対話の場を開くパネルディスカッションから構成されるフォーラムを開催。

なお、本フォーラムは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前収録による動画配信形式で実施。※配信ウェブサイト (<https://alternative-kyoto.jp/news/275/>) 6月22日(火) 10時スタート

～新型コロナウイルス感染拡大防止のために～

- ・会場入口等での手指の消毒や検温等を実施します。また室内の展示会場では定期的な換気を行います。
- ・鑑賞時はマスクを着用の上、互いに距離を1～2メートル程度あけるとともに、発熱等の症状がある方の来場は避けていただくよう、特設ウェブサイト等で周知します。
- ・状況に応じ、入場制限を行う場合があります。また予告なく中止する場合があります。

～日本博とは～

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とする「文化プログラム」の中核的事業として「日本人と自然」を総合テーマに、文化庁が中心となって、関係省庁、地方公共団体、民間団体等と連携しつつ、各地域が誇る様々な文化観光資源を年間通じて体系的に創成・展開する大型国家プロジェクト

～アーティスト・イン・レジデンスとは～

アーティストが一定期間滞在し、地域で制作を行い、地域が本来もつポテンシャルやその魅力をアートの視点から引き出す取組(京都府では平成28年度から実施)

問い合わせ先

商工振興課(担当:荒木) 電話 0772-43-9012